

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第2週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は1350人(定点あたり34.6)で、前週比146%と増加した。(前週は年末年始含む。)

前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

インフルエンザ・小児科定点からの報告

【インフルエンザ】

・報告数は500人(8.5)で前週比329%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(16.8)の約半数である。延岡(13.6)、中央(11.5)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の39%、6~9歳が16%、10~14歳が13%、15~19歳が3%、20歳以上が29%を占めた。

【咽頭結膜熱】

・報告数は52人(1.4)で前週比274%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(0.36)の約4倍である。延岡(3.5)保健所からの報告が多く、年齢別では6ヶ月から2歳が全体の約4割を占めた。

【感染性胃腸炎】

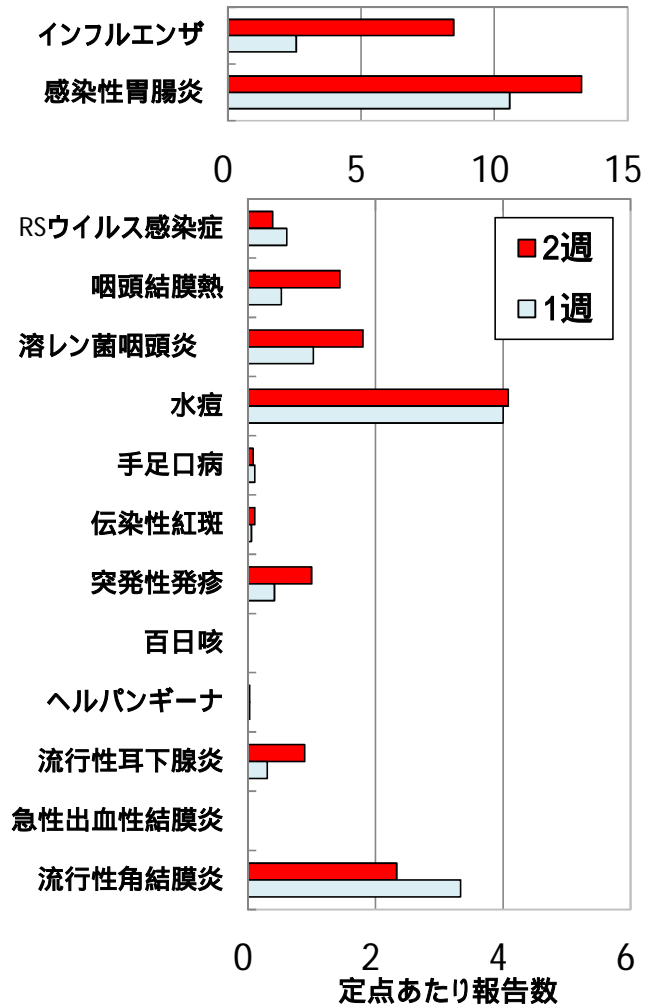
・報告数は478人(13.3)で前週比125%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(17.4)の約8割である。小林(29.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約半数を占めた。

基幹定点からの報告

マイコプラズマ肺炎：宮崎市(1人)保健所から報告された。患者は10歳代。

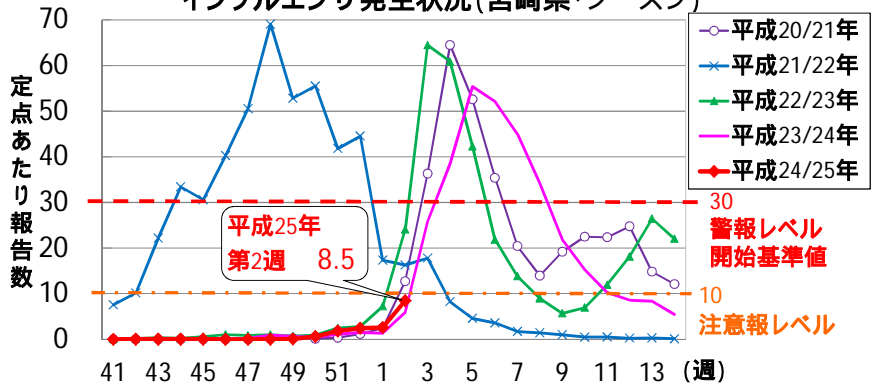
無菌性髄膜炎：都城(3人)保健所から報告された。患者は10ヶ月、1歳、2歳で、病原体はすべてRotavirus group unknown。

(前週との比較)



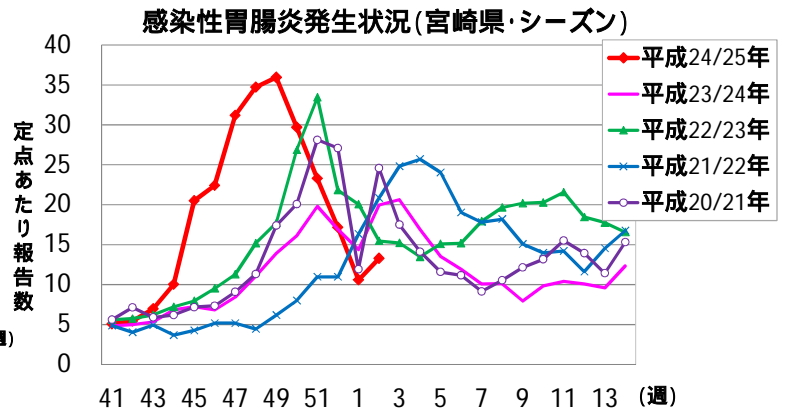
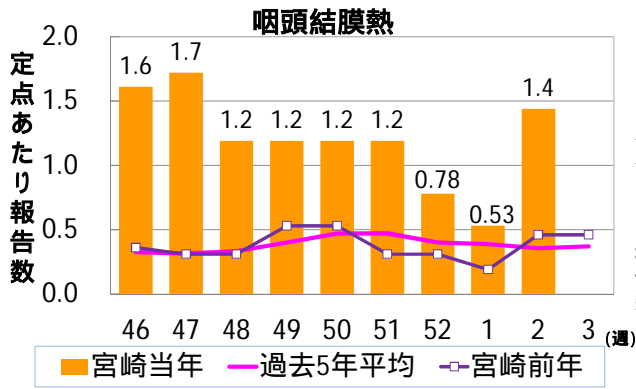
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

インフルエンザ発生状況(宮崎県・シーズン)



平成25年 第2週 8.5

30 警報レベル
開始基準値
10 注意報レベル



流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	咽頭結膜熱(3.5)、水痘(9.0)
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(29.0)
高鍋	水痘(7.0)
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・水痘(7.0)

全数把握対象疾患

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 2 例。
- 3 類感染症： 報告なし。
- 4 類感染症： つつが虫病 2 例。
- 5 類感染症： 急性脳炎 1 例、後天性免疫不全症候群 1 例、破傷風 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状 等
2類	結核	日南	70 歳代	肺結核	なし
		中央	80 歳代	肺結核	咳、痰
4類	つつが虫病	宮崎市	70 歳代	-	発熱、刺し口、発しん
		日向	40 歳代	-	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発しん
5類	急性脳炎	宮崎市	1歳	アデノウイルス	発熱、痙攣、意識障害、立位困難
	後天性免疫不全症候群	宮崎市	20 歳代	AIDS	発熱、乾性の咳嗽、胸部レントゲンによるスリガラス影 指標疾患：ニューモシスティス肺炎
	破傷風	都城	70 歳代	-	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、呼吸困難(痙攣性)、易興奮性 等

病原体情報（衛生環境研究所微生物部 平成 25 年 1 月 13 日までに検出）

細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4	女	2012.12.23	咳嗽無呼吸、百日咳疑	咽頭ぬぐい液	2013.1.4
<i>Streptococcus pneumoniae</i> (肺炎球菌)	70歳代	男	2012.12.25	細菌性髄膜炎疑、発熱(38)、出血傾向(紫斑病)、ショック症状(低血圧、循環不全)、胃腸炎(下痢、嘔気)、髄膜炎(頸部硬直、意識障害)	血液、尿、髄液	2012.12.28

0歳児から、分離法、LAMP法、PCR法で*Bordetella pertussis*（百日咳菌）が分離・検出された。近年、百日咳は青年・成人保菌者が乳幼児に対して感染源となることが問題になっている。

細菌性髄膜炎疑いの70歳代男性から、*Streptococcus pneumoniae*（肺炎球菌）が分離されている。感染症法において定点把握対象五類感染症である細菌性髄膜炎は指定届出機関が届け出ることになっている。また、髄膜炎菌性髄膜炎(*Neisseria meningitidis*によるもの)は全数把握対象五類感染症であり、診断した医師は届け出ることになっている。

ウイルス（サーベイランス）

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
ライノウイルス	1	女	2012.12.11	急性気管支炎、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2013.1.7

急性気管支炎と診断された小児からライノウイルスが検出された。

ノロウイルス検出情報

検出なし。（検査依頼なし）

全国第 1 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 12.7 で、前週比 56%と減少した（年未年始含む）。今週増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は感染性胃腸炎とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

インフルエンザの報告数は 18,652 人（3.9）で、前週比 117%と増加した。群馬県（15.0）、茨城県（9.9）、福島県（9.8）からの報告が多く、年齢別では、5歳以下が19%、6~9歳が8%、10~14歳が7%、15~19歳が6%、20歳以上が60%を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 13,133 人（4.4）で、前週比 38%と減少した。徳島県（12.3）、香川県（11.0）、宮崎県（10.6）からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳で全体の約4割を占めた。

全数把握対象疾患（全国第 1 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	84 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	7 例	腸チフス	2 例
4類感染症	E型肝炎	1 例	つつが虫病	2 例	デング熱	1 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	12 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	急性脳炎	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 例	後天性免疫不全症候群	5 例	ジアルジア症	1 例
	梅毒	4 例	破傷風	3 例	風しん	14 例
	麻しん	1 例				

月報告対象疾患の発生動向 <12月>

性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は26人（2.0）で、前月比72%と減少した。また、昨年12月（3.1）の約7割であった。

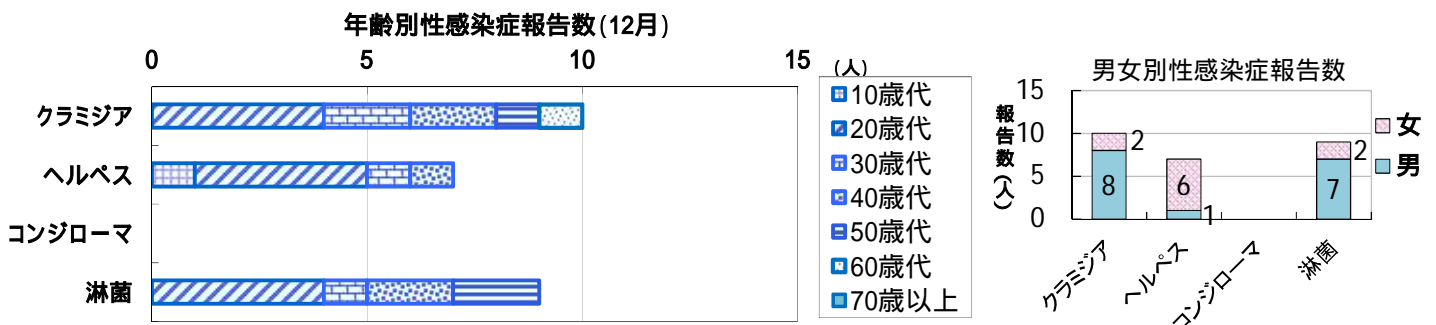
《疾患別》

性器クラミジア感染症：報告数10人（0.77）で、前月及び前年の約4割であった。20歳代が全体の約4割を占めた。

性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人（0.54）で、前月の約1.2倍、前年の約1.4倍であった。20歳代が全体の約6割を占めた。

尖圭コンジローマ：報告はなかった。

淋菌感染症：報告数9人（0.69）で、前月の約1.8倍、前年の約9割であった。20歳代が全体の約4割を占めた。



【全国】 定点医療機関総数：967

定点医療機関からの報告総数は3,680人（3.8）で、前月比95%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,829人（1.9）で前月比93%、性器ヘルペスウイルス感染症683人（0.71）で前月比97%、尖圭コンジローマ440人（0.46）で前月比94%、淋菌感染症728人（0.75）で前月比97%であった。

薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は55人（7.9）で前月比120%と増加した。また、昨年12月（4.1）の約1.9倍であった。

《疾患別》

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数54人（7.7）で、前月の約1.3倍、前年の約2.2倍であった。70歳以上が全体の約半数を占めた。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告はなかった。

薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数1人（0.14）で、前月及び前年と同程度であった。70歳以上の報告であった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：469

定点医療機関からの報告総数は2,045人（4.4）で、前月比95%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,725人（3.7）で前月比97%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症300人（0.64）で前月比89%、薬剤耐性緑膿菌感染症20人（0.04）で前月比50%、薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告はなかった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2013年 第02週(01月07日～01月13日)

疾病名		第1週	第2週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	152	500	141	70	95	49	30	46		46	23
	定点あたり	2.58	8.47	8.81	7.00	13.57	9.80	6.00	7.67	0.00	7.67	11.50
RSウイルス 感染症	報告数	22	14	4	3	6					1	
	定点あたり	0.61	0.39	0.40	0.50	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	19	52	15	10	14	4	4	1		4	
	定点あたり	0.53	1.44	1.50	1.67	3.50	1.33	1.33	0.25	0.00	1.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	37	65	13	6	10	4	1	16	1	12	2
	定点あたり	1.03	1.81	1.30	1.00	2.50	1.33	0.33	4.00	1.00	3.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	381	478	131	86	19	54	87	53	12	36	
	定点あたり	10.58	13.28	13.10	14.33	4.75	18.00	29.00	13.25	12.00	9.00	0.00
水痘	報告数	144	147	24	34	36	9	6	28		9	1
	定点あたり	4.00	4.08	2.40	5.67	9.00	3.00	2.00	7.00	0.00	2.25	1.00
手足口病	報告数	4	3	1		1				1		
	定点あたり	0.11	0.08	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	2	4	3	1							
	定点あたり	0.06	0.11	0.30	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	15	36	13	3	6	4		5		4	1
	定点あたり	0.42	1.00	1.30	0.50	1.50	1.33	0.00	1.25	0.00	1.00	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	1				1					
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	11	32	5	21	1			4		1	
	定点あたり	0.31	0.89	0.50	3.50	0.25	0.00	0.00	1.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	20	14	8	1	5						
	定点あたり	3.33	2.33	2.67	0.50	5.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		3		3							
	定点あたり	0.00	0.43	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺 炎	報告数	1	1	1								
	定点あたり	0.14	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2013年第1週～2週)

2類感染症	結核	3例(2)										
4類感染症	つつが虫病	2例(2)										
5類感染症	急性脳炎	1例(1)	後天性免疫不全症候群	1例(1)	破傷風							1例(1)

()内は今週届出分、再掲